

こま がた じん じゃ みず さわ こう えん けい さくら ぐん
駒形神社ならびに水沢公園のヒガン系桜群

- ◆指定年月日 昭和41年3月8日
- ◆所在地 水沢区中上野町
- ◆所有者 駒形神社・奥州市



奥州市水沢公園及び駒形神社境内は、サクラをはじめとする様々な樹木に覆われています。特にも樹齢250-300年を超えると推測されるヒガン系サクラは見事であり、サクラの名所となっています。種類はエドヒガン、ベニヒガン、シダレヒガン。その他、ベニヤマザクラや明治以後の植樹によるソメイヨシノも含まれています。

面積54,296㎡

い さわ がわ りゅう い き ぐん らく
胆沢川流域ユキツバキ群落

- ◆指定年月日 昭和44年6月6日
- ◆所在地 胆沢区若柳字横岳前山～東前川山
- ◆所有者 国（管理 奥州市）

日本海側ブナ林帯に普通に見られるユキツバキですが、この群落は、ユキツバキ分布の東限であり、原生状態の群落とその自生環境とを最も良く示すものとして重要です。



東前川山国有林53林班れ小班	1,600㎡
東前川山国有林54林班り小班	43,000㎡
横岳前山国有林117林班ろ18小班	うち220,300㎡

わか やなぎ ぐん らく
若柳のヒメカイウ群落

- ◆指定年月日 昭和53年4月4日
- ◆所在地 胆沢区若柳字横岳前山ほか平七沼周辺
- ◆所有者 国（管理 奥州市）

焼石岳南山腹の通称「平七沼」に自生するヒメカイウは、寒地性のサトイモ科の水草です。日本では、北海道には普通に見られますが、本州では、ここ以外には恐山・白鷹山・仙台近郊・志賀高原など、ごく限られた場所に自生する貴重な植物です。

標準和名はヒメカイウですが、指定名称は別名のヒメカイウとなっています。



せん よう じ
千養寺のカヤ

- ◆指定年月日 昭和32年3月30日
- ◆所在地 水沢区羽田町字門下
- ◆所有者 千養寺

カヤは山林に生える常緑高木で、庭にも植えられます。自生は南東北が北限とされており、貴重な古木です。

根周周囲4.56m、樹高15m



日高神社のスギ

- ◆指定年月日 昭和32年3月30日
- ◆所在地 水沢区字日高小路
- ◆所有者 日高神社

本殿前と池の前の2本の一括指定です。「征夷大将軍源頼義・義家が安倍貞任・宗任追討の砌、昼食の箸にて植えた」という伝承があり、日高神社の歴史を物語る古木です。

①目通り幹囲5.5m ②目通り幹囲5.4m



大手町のスギ

- ◆指定年月日 昭和47年4月1日
- ◆所在地 水沢区大手町一丁目
- ◆所有者 奥州市

江戸時代以前から水沢要害を見守ってきた古木であり、象徴木として貴重です。

目通り周囲5.3m、樹高21m



松山寺のイチヨウ

- ◆指定年月日 昭和48年4月1日
- ◆所在地 衣川区女石
- ◆所有者 松山寺

イチヨウの古木に見られる乳房状の柱瘤を持っており、貴重な大木です。



乳房状の突起有り

根元周囲4.28m 胸高周囲1.58m、樹高14.3m

しょうざんじ
松山寺のカヤ

- ◆指定年月日 昭和48年 4 月 1 日
- ◆所在地 衣川区女石
- ◆所有者 松山寺

カヤは、南東北が自生北限となっている常緑樹です。この地方では決して稀な植樹ではありませんが、貴重な大木です。

根元周囲6.6m 胸高周囲4.10m



せきぶくろ
関袋のカヤ

- ◆指定年月日 昭和48年 4 月 1 日
- ◆所在地 衣川区関袋
- ◆所有者 個人

カヤは、南東北が自生北限となっている常緑樹です。この地方では決して稀な植樹ではありませんが、貴重な大木です。

根元周囲4.75m 胸高周囲3.90m、樹高9.3m



なみきまえ がったいぼく
並木前のエドヒガン・コナラ合体木

- ◆指定年月日 昭和48年 4 月 1 日
- ◆所在地 衣川区並木前
- ◆所有者 個人

北館のエドヒガン

- ◆指定年月日 昭和48年4月1日
- ◆所在地 衣川区横道下
- ◆所有者 個人

開花時期になると高速道からよく見える場所にあり、花が見事で通称「北館桜」として親しまれています。一本桜として地域を代表する古木です。



樹高17m、根元周囲8.52m 胸高周囲5.92m

山口のヒノキアスナロ

- ◆指定年月日 昭和48年4月1日
- ◆所在地 衣川区山口
- ◆所有者 個人

アスナロの変種であるヒノキアスナロは、本州北部、北海道南部に自生する針葉樹です。屋敷近くに植樹されたヒノキアスナロとしては大木であり貴重です。



根元で2本に分かれている

- ①樹高15m、根元周囲2.45m、胸高周囲2.49m
- ②樹高10m、根元周囲3.27m、胸高周囲3.06m

後滝の沢のスギとフジ

- ◆指定年月日 昭和48年4月1日
- ◆所在地 衣川区後滝の沢
- ◆所有者 個人

スギ、フジとも大木であり、特に藤は高さがあって開花時は見事な姿を見せます。

【杉】 樹高25m、根元周囲6.74m、胸高周囲5.09m

【藤】 胸高周囲1.42m



うね はた
畦畑のスギ

- ◆指定年月日 昭和48年4月1日
- ◆所在地 衣川区畦畑
- ◆所有者 個人

市指定記念物 天然記念物／植物

樹高25m、根元周囲5.99m、胸高周囲4.71m



かけ だ
懸田のヒイラギ

- ◆指定年月日 昭和48年4月1日
- ◆所在地 衣川区懸田
- ◆所有者 個人

ヒイラギは、関東以西に分布域を持つ暖地性植物です。このように北の地で大きくなることは珍しく貴重です。「厄よけ」として植えられたと伝承されており、民俗資料としても貴重です。

樹高8m、根元周囲2.54m、胸高周囲2.35m

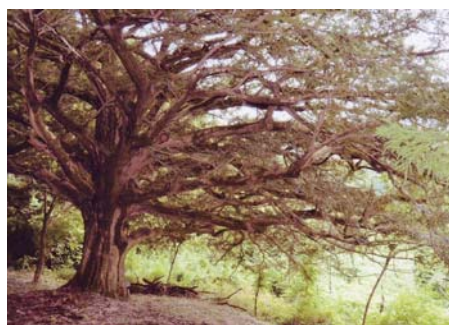


なが た
長田のカヤ

- ◆指定年月日 昭和49年4月1日
- ◆所在地 水沢区黒石町字長田
- ◆所有者 個人

カヤは、南東北が自生北限となっている常緑樹です。この地方では決して稀な植樹ではありませんが、貴重な大木です。

根元周囲4.13m、胸高周囲2.20m、樹高15～20m



はだやくもじんじゃ
羽田八雲神社のイロハモミジ

- ◆指定年月日 昭和56年3月30日
- ◆所在地 水沢区羽田町字粟ノ瀬
- ◆所有者 八雲神社

イロハモミジは山の谷間に見られる落葉高木で、自生地北限は福島県以西であり、県内のイロハモミジは植樹されたものです。地域で大切にされてきた貴重な古木です。

目通り周囲3.64m、根元周囲3.82m、樹高約13m

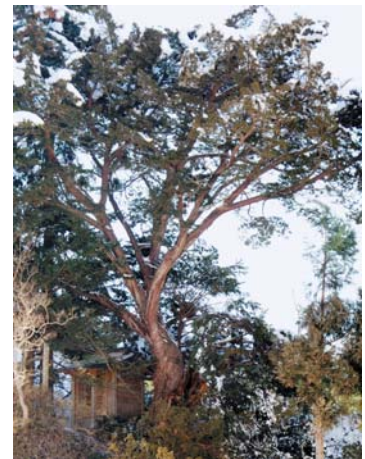


むかいへいとう
向平当のイチイ

- ◆指定年月日 昭和56年5月19日
- ◆所在地 江刺区米里字向平当
- ◆所有者 個人

北海道から九州に分布する常緑針葉樹です。南東向きの山裾近くの斜面に生立し、根元の直上には小さな祠が建てられています。成長が極めて遅いとされ、貴重な古木です。

樹高11m、根元周囲4.2m 胸高周囲4.2m



まえおおばたけ
前大畑のイチイ

- ◆指定年月日 昭和57年7月7日
- ◆所在地 胆沢区小山字前大畑
- ◆所有者 個人

こじゅうもんじ 小十文字のサイカチ

- ◆指定年月日 昭和57年7月7日
- ◆所在地 胆沢区南都田字小十文字
- ◆所有者 個人

サイカチはマメ科の落葉高木樹で、この木は胆沢区最大のサイカチです。

幹径0.92m、樹高20m



まえ おお ぼたけ 前大畑のスギ

- ◆指定年月日 昭和57年7月7日
- ◆所在地 胆沢区小山字前大畑
- ◆所有者 個人

県下でも上位30位に値する巨木です。スギの巨木は神社仏閣境内に多く見られますが、個人の屋敷地内の巨木は少なく、江戸時代の屋敷林のありかたを示すものとして貴重です。

幹径1.4m、樹高35m



おお や ち 大谷地のヤブツバキ

- ◆指定年月日 昭和57年7月7日
- ◆所在地 胆沢区小山字上大谷地
- ◆所有者 個人

ツバキは陰樹の常緑高木です。この木は胆沢区最大のツバキです。

幹径0.35m、樹高5m



おぎ くほ 萩の窪のキタゴヨウ

- ◆指定年月日 昭和57年7月7日
- ◆所在地 胆沢区南都田字萩ノ窪
- ◆所有者 個人

マツ科の常緑針葉樹で、古くから園芸種として親しまれています。本樹は個人庭園内の名木として貴重なものです。

幹径0.54m、樹高14m



荒谷のイロハモミジ

- ◆指定年月日 昭和54年8月1日
- ◆所在地 前沢区生母字荒谷
- ◆所有者 個人

イロハモミジの自生地北限は福島県であり、県内のイロハモミジは植樹されたものです。大きい方は県下第1の大木であり、四季それぞれ色を変え、特に秋が美しい名木です。

- ①目通り3.60m
- ②目通り3m

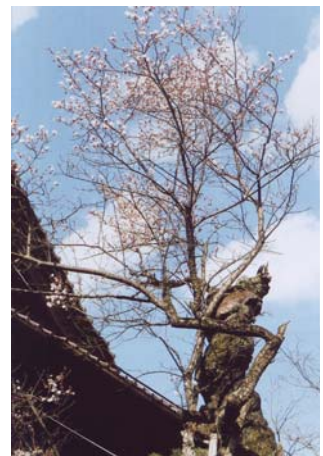


だい こう てい 太幸邸のウメ

- ◆指定年月日 昭和54年8月1日
- ◆所在地 前沢区字七日町
- ◆所有者 個人

県有形文化財「太田家住宅（太幸邸）」の庭園にあり、樹齢430年と推定される県下屈指の梅の大木です。

樹齢430年
目通り2.35m、高さ約11m



土橋のエドヒガン

- ◆指定年月日 平成元年12月26日
- ◆所在地 胆沢区若柳字土橋
- ◆所有者 個人

土橋のエドヒガンは胆沢区唯一の大木で、貴重です。地元では、「種蒔桜」との名で親しまれており、開花時期が農作業の時期の目安とされていたと考えられます。

樹高14m、根周3.55m、幹囲2.87m



峠のトウゲダケ群落

- ◆指定年月日 平成元年12月26日
- ◆所在地 胆沢区小山字峠
- ◆所有者 個人

トウゲダケは地元では別名のトウゲザサの名で呼ばれ、アズマザサ属に分類されます。1928年ごろ佐々木喜一氏によって発見され、盛岡高等農林学校の内田繁太郎教授が牧野富太郎博士に示し、1929年に発表されました。本群落はトウゲダケの基準産地であり、貴重です。

面積267.78㎡



鹿合のスギ

- ◆指定年月日 平成元年12月26日
- ◆所在地 胆沢区若柳字上鹿合
- ◆所有者 個人

鹿合の山居館と呼ばれる見張り台があったとされる丘陵地の突端に立つ堂々たる老スギです。スギの天然記念物は大木として各地に多く見られますが、胆沢区ではこれだけの大木は他になく貴重です。

樹高20m、根周6.8m、幹囲4.4m、枝張り（東7.9m、西6.5m、南10.8m、北7.5m）



明善寺のヒヨクヒバ

- ◆指定年月日 平成元年12月26日
- ◆所在地 胆沢区若柳字香取
- ◆所有者 明善寺

ヒヨクヒバはサワラの栽培品種で、枝が開帳し、細枝が長く下垂して樹形が優れているので庭園に広く植栽されています。ヒバの仲間でこれほどの大木は他にはなく貴重です。

樹高20m、根周8.01m、周囲3.73m



芦ノ随のブナ

- ◆指定年月日 平成元年12月26日
- ◆所在地 胆沢区若柳字芦ノ随
- ◆所有者 個人

大木ではありませんが、この地域の平地地帯にこれほどの木が生育しているのは珍しく、かつこの地域がブナ林地帯であることを示しています。周辺部の様子から見て植えられたものと見られますが、かつてこの地域が開発される以前のブナ林の残存木の可能性も考えられます。

樹高23m、根周4.8m、胸高周囲3.36m、枝張り（東5.9m、西5.1m、南4.1m、北5.5m）



野崎のヤマトアオダモ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区野崎
- ◆所有者 個人

ヤマトアオダモは山に生えるモクセイ科の落葉高木です。本ヤマトアオダモは平地のヤマトアオダモとしては大木です。

樹高25m、根元周囲5.23m、胸高周囲4.21m



石ヶ沢のカヤ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区石ヶ沢
- ◆所有者 個人

カヤは、南東北が自生北限となっている常緑樹です。この地方では決して稀な植樹ではありませんが、貴重な大木です。



樹高11m、根元周囲4.25m、胸高周囲4.3m

餅転のネズコ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区餅転
- ◆所有者 個人

ネズコはヒノキ科の常緑高木です。野生では深山に生える樹種ですが、標高100m前後の平坦地での生育は珍しく、しかも大木であることから貴重です。



イ=樹高25m、根元周囲3.25m、胸高周囲2.10m ロ=樹高25m、根元周囲3.04m、胸高周囲1.78m
ハ=樹高25m、根元周囲2.78m、胸高周囲1.62m ニ=樹高25m、根元周囲1.92m、胸高周囲1.41m

餅転のスギ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区餅転
- ◆所有者 個人

近年、屋敷地周辺にスギの大木は少なくなっています。このような中、貴重な大木です。



イ=樹高30m、根元周囲5.10m、胸高周囲4.06m
ロ=樹高25m、根元周囲3.53m、胸高周囲2.84m
ハ=樹高30m、根元周囲6.44m、胸高周囲6.07m

旧殿きゅうでんのコウヤマキ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区西風山
- ◆所有者 八幡神社

コウヤマキは福島県域が北限ですが、全国各地の社寺に胸高周り1m以上高さ20、30m以上のものが存在します。昭和2年に高野山から植樹された木で、高野山参詣記念という植樹背景が明確な記念樹です。

樹高19m、根元周囲2.77m 胸高周囲1.79m



檜原ならはらのサルスベリ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区檜原
- ◆所有者 個人

サルスベリは中国南部原産の落葉高木で、元禄時代には日本に入っていました。サルスベリとしては根張りもよく名木です。

樹高6.9m、根元周囲2.32m、胸高周囲（枝A=0.95m 枝B=1.1m）



真打まうちのミチノクナシ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区真打
- ◆所有者 個人

ミチノクナシはイワテヤマナシとも言われ、人家付近の山林に見られるバラ科の落葉高木です。民家のヤマナシとして、珍しい大木です。実は食用になります。

樹高12m、根元周囲2.67m、胸高周囲2.37m



檜原のヤマボウシ

- ◆指定年月日 平成7年11月6日
- ◆所在地 衣川区檜原
- ◆所有者 個人

通称「ヤマガ」（ヤマグワ）。山に見られる落葉高木で、自生か植樹かは不明です。ヤマボウシとしてはかなりの大木であり貴重です。

樹高15m、根元周囲2.37m、胸高周囲1.58m



山岸のイチヨウ

- ◆指定年月日 平成11年11月1日
- ◆所在地 衣川区山岸
- ◆所有者 個人

県下有数のイチヨウと考えられ、貴重です。

樹高35m、根元周囲5.74m、胸高周囲4.86m



古館のエドヒガン

- ◆指定年月日 平成11年11月1日
- ◆所在地 衣川区古館
- ◆所有者 個人

エドヒガンの大木で、樹形、根張りともたいへん良好です。毎年、4月下旬の種干し時期に無数の花をつけることから「みほし桜」として、親しまれてきました。地域で大切に守られてきた桜です。

樹高25m、根元周囲7.42m、胸高周囲5.50m



ふるど 古戸のサワラ

- ◆指定年月日 平成11年11月1日
- ◆所在地 衣川区古戸
- ◆所有者 個人

山中に野生する常緑高木で、庭園に植えられることもあります。里でこのような巨木となることは珍しく、樹勢も良好で地域の名木として貴重です。

樹高30m、根元周囲5.34m、胸高周囲3.66m



ますざわ 増沢のエゾイタヤ

- ◆指定年月日 平成14年8月1日
- ◆所在地 衣川区増沢
- ◆所有者 奥州市

北股川上流の下北沢斜面に自生する大木です。樹形全体に風格があり地域で大切にされています。

樹高20m、根元周囲5.7m、胸高周囲5.3m、根周り5.18m、胸高周囲5.06m



やながわ 梁川のエドヒガン (種蒔桜)

- ◆指定年月日 平成24年3月30日
- ◆所在地 江刺区梁川字市道
- ◆所有者 個人

地域での呼び名は「種蒔桜」で、農事桜としても重要で、かつてはこの桜が咲く頃に遅れないように種モミを蒔いていました。またこのエドヒガンは岩谷堂～田瀬、野手崎～人首を結ぶ古道の交差点に位置し、栗生沢集落の象徴的存在といえる名木です。

樹高14.6m、胸高周囲5.67m



あきばじんじゃ 秋葉神社のスギ

- ◆指定年月日 平成26年11月3日
- ◆所在地 江刺区伊手
- ◆所有者 秋葉神社

秋葉神社のスギはご神木と夫婦杉の一括指定です。各々幹周囲が6.76 mと10.05 mあり、市天然記念物に指定されたスギの中では1位と2位、岩手県下では5位と30位に相当する巨樹です。

伊手地区の中心部にあり、「秋葉神社」の御神木として信仰の対象になっています。高台に生えている姿は、麓からも確認することができ、地域の象徴的名木となっています。



①

②

- ①神木 胸高幹周囲6.76m
- ②夫婦杉 胸高幹周囲10.05 m (5.57 mと4.48 mの2本が根元で癒合)

とがくしじんじゃ 戸隠神社のスギ

- ◆指定年月日 平成26年11月3日
- ◆所在地 江刺区伊手
- ◆所有者 戸隠神社

戸隠神社のスギは幹周囲が6.23 mあり、市天然記念物に指定されたスギの中では3位、岩手県下では40位に相当する巨樹です。

旧伊手村の村社「戸隠神社」の御神木であり、麓からも戸隠山の山頂に立つ姿を確認することができるなど、地域の象徴的名木です。

戸隠神社は虫歯の神様として信仰されており、縁日にご神木に卵を捧げて拝む慣わしがあり、その卵を御神木に住むへびがいただくと言われました。昭和30年以前は、東磐井郡興田方面からも草履履きで参拝客が訪れるなど、賑わいました。



胸高幹周囲6.23m

ふじ さと けい か ぼく
藤里の珪化木

- ◆指定年月日 昭和38年12月24日
- ◆所在地 江刺区藤里字石名田
- ◆所有者 個人

植物体に珪酸成分がしみ込み、細胞内に沈着し結晶化して幹の形が残ったものを珪化木といいます。安山岩の礫を交えた砂質凝灰岩からなり、珪化木はこの中に立って埋もれています。現在見えているのは主幹の先端部の4mほどだけで、その様子から埋没する部分を判断すると、全長は10mを超すと推定されます。樹種はセコイアメスギで、新第三紀には、日本各地で大森林をなしていたといわれます。この珪化木は、県内では根反の大珪化木に次いで大きく、しかも直立した樹幹が保存されており、貴重です。



直径1.35～1.19m、高さ3.5m

そで やま き せき あん ざん がん ちゅうじょう せつ り
袖山の輝石安山岩柱状節理

- ◆指定年月日 昭和48年11月3日
- ◆所在地 江刺区岩谷堂字袖山
- ◆所有者 個人

岩石が冷却するとき、柱状に規則的な割れ目が入ったものです。蜂の巣状の六角形桶の形をしているので、地元では通称「桶石」と呼ばれています。六面を持つので「六面石」とも呼ばれます。



丸く窪地になっており、その壁面に柱状節理が見られる。高さ2～3m、巾15～20m